

和歌山大学平成30年度後期学部開放授業

JAわかやま寄付講義*

社会人受講生募集

「食と農のこれからを考える」

ねらい：日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。

本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流などについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討します。

対象：一般社会人ほか

場所：和歌山大学栄谷キャンパス（東1号館G103室）

開講時期：後期火曜日5時限目（16:30-18:00）

募集人数：30名程度

- 第1回（10月2日）現代の食料・農業（岸上光克、食農総合研究所・教授）
- 第2回（10月9日）地方創生と農の6次産業化（内藤重之、琉球大学農学部・教授）
- 第3回（10月16日）日本版ガストロノミーと文化の創造（尾藤環、辻調理師専門学校・企画部長）
- 第4回（10月23日）食農教育の現代的意義（川端慎介、JA全中くらし・高齢者対策課・課長）
- 第5回（10月30日）フードシステムの特徴と課題（小林茂典、農水省農業政策研究所・主任研究員）
- 第6回（11月6日）都市農村交流の新段階（藤田武弘、観光学部・教授）
- 第7回（11月13日）地域資源の活用とコミュニティビジネス（木村則夫、株式会社秋津野・副社長）
- 第8回（11月27日）「田園回帰」時代のライフスタイル（辻和良、食農総合研究所・特任教授）
- 第9回（12月4日）農業・農村とジェンダー（植田淳子、食農総合研究所・特任助教）
- 第10回（12月11日）農業の後継者問題（山本淳子、農研機構食農ビジネス研究センター・主任研究員）
- 第11回（12月18日）農業生態系・多面的機能の価値（原祐二、システム工学部・准教授）
- 第12回（1月8日）都市農業の新展開（藤井至、観光学部・特任助教）
- 第13回（1月15日）協同組合の現代的価値（岸上光克・再掲）
- 第14回（1月22日）農業とIT活用（佐々木茂明、株式会社シトラス・代表取締役）
- 第15回（1月29日）若手農業者と語る「食と農のこれから」（藤田武弘・再掲+県内若手農業後継者）

*JAわかやまと和歌山大学（観光学部）は2015年から3年間「新たな市民農園の展開による都市農業再生」をテーマに共同研究に取り組み、農業体験農園の開設などの成果をあげている。そして、2018年度からは共同研究の継続とともに、次世代の育成や食農教育を通じた農業理解の醸成を目的とした寄付講義を開講することとなった。



和歌山大学
食農総合研究所

電話：073-457-7126



聴講資格：18歳以上（高校生は除く）

募集人数：30名程度

出願期間：平成30年9月5日（水）～9月13日（木）

出願方法：「受講者登録申請書」と「聴講申請書」を
和歌山大学食農総合研究所宛にお送りください。
その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、
郵送下さい。

出願先：和歌山大学食農総合研究所
〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

費用：登録料 7,000円（1回の登録で4年間、本学学部開放授業の聴講申請が可能です）
聴講料 10,000円
※申請書類が届き次第、振込用紙を郵送します。
所定の用紙を使って聴講料及び登録料を平成30年9月18日（土）までに銀行振込してください。
手数料は受講者負担となります。
期限までに振り込まれない場合は、登録申請、聴講申請は無効となります。

問い合わせ先：和歌山大学食農総合研究所 TEL 073-457-7126
E-mail syokuno@center.wakayama-u.ac.jp

**和歌山大学 食農総合研究所

コンセプトは「テロワールを活かした農の新たな価値創造」。和歌山における地方創生の鍵は農山漁村の地域再生、それを支える農林漁業の再生にあると考え、食や農、農山漁村の課題に応える本学の窓口として、平成28～31年度の4年間のプロジェクトとして発足。今後の展開を模索中。

テロワールとは、ワインのソムリエが使う言葉で、ブドウの生育環境としての立地を表していますが、現在では風土、自然環境とそこで育まれた特徴的な産業、文化、歴史、そして暮らしが渾然となったいわば「地域らしさ」を表現する言葉として使われています。

<和歌山大学へのアクセス>

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

※いずれも「和歌山大学」バス停下車

●南海和歌山大学前駅から
徒歩で約20分、和歌山バス（和歌山大学前駅東口バス停
和歌山大学行き）で約4分

●南海和歌山市駅から
和歌山バス（6番乗り場 和歌山大学行き）で約20分

●JR和歌山駅から
和歌山バス（4番乗り場 和歌山大学行き）で約30分

※「大学口」「大学門前」各停留所は和歌山大学の最寄
停留所ではありませんのでご注意ください。



和歌山大学平成30年度後期学部開放授業

JAわかやま寄付講義*

社会人受講生募集

「食と農のこれからを考える」

ねらい：日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。

国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。

本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流などについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討します。

対象：一般社会人ほか

場所：和歌山大学栄谷キャンパス（東1号館G103室）

開講時期：後期火曜日5時限目（16:30-18:00）

募集人数：30名程度

- 第1回（10月2日）現代の食料・農業（岸上光克、食農総合研究所・教授）
- 第2回（10月9日）地方創生と農の6次産業化（内藤重之、琉球大学農学部・教授）
- 第3回（10月16日）日本版ガストロノミーと文化の創造（尾藤環、辻調理師専門学校・企画部長）
- 第4回（10月23日）食農教育の現代的意義（川端慎介、JA全中くらし・高齢者対策課・課長）
- 第5回（10月30日）フードシステムの特徴と課題（小林茂典、農水省農業政策研究所・主任研究員）
- 第6回（11月6日）都市農村交流の新段階（藤田武弘、観光学部・教授）
- 第7回（11月13日）地域資源の活用とコミュニティビジネス（木村則夫、株式会社秋津野・副社長）
- 第8回（11月27日）「田園回帰」時代のライフスタイル（辻和良、食農総合研究所・特任教授）
- 第9回（12月4日）農業・農村とジェンダー（植田淳子、食農総合研究所・特任助教）
- 第10回（12月11日）農業の後継者問題（山本淳子、農研機構食農ビジネス研究センター・主任研究員）
- 第11回（12月18日）農業生態系・多面的機能の価値（原祐二、システム工学部・准教授）
- 第12回（1月8日）都市農業の新展開（藤井至、観光学部・特任助教）
- 第13回（1月15日）協同組合の現代的価値（岸上光克・再掲）
- 第14回（1月22日）農業とIT活用（佐々木茂明、株式会社シトラス・代表取締役）
- 第15回（1月29日）若手農業者と語る「食と農のこれから」（藤田武弘・再掲＋県内若手農業後継者）

*JAわかやまと和歌山大学（観光学部）は2015年から3年間「新たな市民農園の展開による都市農業再生」をテーマに共同研究に取り組み、農業体験農園の開設などの成果をあげている。そして、2018年度からは共同研究の継続とともに、次世代の育成や食農教育を通じた農業理解の醸成を目的とした寄付講義を開講することとなった。



和歌山大学
食農総合研究所

電話：073-457-7126



聴講資格：18歳以上（高校生は除く）

募集人数：30名程度

出願期間：平成30年9月5日（水）～9月13日（木）

出願方法：「受講者登録申請書」と「聴講申請書」を和歌山大学食農総合研究所宛にお送りください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、郵送下さい。

出願先：和歌山大学食農総合研究所
〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

費用：登録料 7,000円（1回の登録で4年間、本学学部開放授業の聴講申請が可能です）
聴講料 10,000円
※申請書類が届き次第、振込用紙を郵送します。
所定の用紙を使って聴講料及び登録料を平成30年9月18日（土）までに銀行振込してください。
手数料は受講者負担となります。
期限までに振り込まれない場合は、登録申請、聴講申請は無効となります。

問い合わせ先：和歌山大学食農総合研究所 TEL 073-457-7126
E-mail syokuno@center.wakayama-u.ac.jp

***和歌山大学 食農総合研究所

コンセプトは「テロワールを活かした農の新たな価値創造」。和歌山における地方創生の鍵は農山漁村の地域再生、それを支える農林漁業の再生にあると考え、食や農、農山漁村の課題に応える本学の窓口として、平成28～31年度の4年間のプロジェクトとして発足。今後の展開を模索中。

テロワールとは、ワインのソムリエが使う言葉で、ブドウの生育環境としての立地を表していますが、現在では風土、自然環境とそこで育まれた特徴的な産業、文化、歴史、そして暮らしが渾然となつたいわば「地域らしさ」を表現する言葉として使われています。

<和歌山大学へのアクセス>

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

※いずれも「和歌山大学」バス停下車

●南海和歌山大学前駅から
徒歩で約20分、和歌山バス（和歌山大学前駅東口バス停
和歌山大学行き）で約4分

●南海和歌山市駅から
和歌山バス（6番乗り場 和歌山大学行き）で約20分

●JR和歌山駅から
和歌山バス（4番乗り場 和歌山大学行き）で約30分

※「大学口」「大学門前」各停留所は和歌山大学の最寄
停留所ではありませんのでご注意ください。

